

## 今年のフォーラム&セミナー テーマは「観光で地域創生を！」 観光大臣会合など各国のリーダーが集結

**国際ツーリズムにおけるプレゼンテーション確立へ**

今年9月20日から23日までの4日間にわたり、東京・有明の東京ビッグサイトを中心に開かれる「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ 2018)」では、観光で地域創生を「(Managing Sustainable Tourism for Community Development)」をテーマに「フォーラム&セミナー」が開催されます。

20日午前に行われる開会式とジャパン・ツーリズムアワード表彰式の後、東京ビッグサイトの西展示棟3ホールで実施される「基調講演」には、国連世界観光機関(UNWTO)のスラブ・ポロリカシユヴィリ事務局長と世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)のグローバル・ゲバラ・マンソ会長が登壇。20日午後には、東京ビッグサイトに隣



世界14カ国からトップリーダーが集結したTEJ2017の観光大臣会合

接する東京コンファレンスセンター！有明で、昨年が続いて「TEJ観光大臣会合」が開かれ、アジア・欧州・米州・オセアニア・アフリカなど世界各地域から主要国の観光大臣などが出席する予定です。

「持続可能な観光」をテーマに開催された昨年のTEJ観光大臣会合には世界14カ国の観光行政トップが参加して、幅広い視点からツーリズムと持続可能性という理念を結び付ける知見を示し、ツーリズム産業が今後も発展していくために持続可能性という原則に基づくことの重要性が確認されています。

TEJ観光大臣会合は、各国の観光行政トップとUNWTOやWTTC、太平洋アジア観光協会(PATA)といった国際的な観光関連組織の幹部らによって持続



多くの参加者が議論に聴き入った昨年のアジア・ツーリズム・リーダーズ・フォーラム

可能な観光をめぐる各国での取り組みや考え方などについて議論が深められ、国際ツーリズムにおけるTEJのプレゼンテーション確立を内外に強く印象付けるものとなりました。今年の観光大臣会合では、国内の自治体からも首長による登壇も予定されており、日本におけるツーリズムの深化に貢献する会議としても存在感をアピールことになりそうです。

### 地域観光振興に資するベストプラクティスを

また、海外・国内・訪日という3つの旅行分野で実施されるテーマ別シンポジウムについては、「海外旅行シンポジウム」「デジタルマーケティングシンポジウム」「ラゲジュアリー・トラベルマーケットシンポジウム」という構成により、議論が繰り広げられます。海外・国内・訪日の各旅行市場における需要拡大や新たなマーケット開発を図る施策の実現を目指し、ホットなテーマが取り上げられる予定です。

TEJの国際会議部会で部会長を務める桜美林大学の渡辺康洋教授(観光学・観光英語)は、「国連の『持続可能な観光国際年』に関連したテーマで観光大臣会合やシンポジウムが行われた昨年に続いて、今年もサステナビリティを意識しつつ観光で地域創生を」という今年のテーマを軸に、持続可能な観光

開発で成功している先進事例などの紹介を通じて、ローカルビジネスに関わる皆さんに今後の展開に資するようなベストプラクティスのイメージを持ち帰っていただけるようなフォーラム&セミナーを目指したい」と説明しています。

昨年までの「アジアツーリズム・リーダーズフォーラム」から名称が変わる「アジアツーリズムビジネスリーダーズフォーラム」では、「観光ビジネスと地域の調和に向けたマネジメント」(仮)をテーマに2つのセッションを行い、「持続可能性に向けたツーリズムのマネジメント」や「ツーリズムビジネスと地域社会の暮らしやすさ」といった個別テーマを掘り下げるのが検討されています。また、同フォーラムでの基調講演では、昨年に続いて、英国サリ大学のアレク・ミラー教授が登壇する予定です。

さらに、今年のフォーラム&セミナーでは、都道府県政令指定都市観光協会連盟の会長などによる会議(9月20日)や全国産業観光推進協議会シンポジウム(9月21日)、旅行業界研究講座(9月22日)などのプログラムも用意されており、観光で地域創生を」という全体テーマについて、観光振興に様々な形で関わる多くのエキスパートによる知見やノウハウが紹介されることとなります。